（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	障害児通所支援あおむし

公表日　2026年　1月　30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・ほぼ毎日定員ぎりぎりに近ずき使う。利用人数に合わせて活動場所をかけるなどの工夫を行っている ・外遊室側に出て、無理のない空間の使い方を見直している。	・活動内容によっては、スペースに限りを感じる場面もあるため、引き続き工夫を重ねていく必要がある
	2	利用支援やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・利用者数や支援内容に合わせて、職員配置やシフトの調整を行っている	・個別対応が必要な場合には、より柔軟な職員配置について検討していく必要がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・子ども一人一人にとって分かりやすい環境となるよう、物品の整理・表示の工夫を行っている ・障がい特性に配慮し、物品の配置や環境色作りを心がけている。	・建物の構造上、移動に配慮が必要な点があるため、今後も安全面・利用性の向上を検討していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・全室的に整理整頓を保ち清潔な環境を維持している ・使用後の物品については、清潔を徹底している	・建物の経年と老朽化については、引き続き環境改善を意識していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・子どもの発達や状況を踏まえ、活動空間に応じて部屋の使い分けを行っている。	・個別対応が必要な場合を想定し、より柔軟な空間活用について検討していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・毎月、研究のスケジュールを通して、日々の振り返りや情報共有を行っている	・業務改善に関がも発揮を、より多く取り入れられるよう工夫していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者の発言や子どもの様子を日常的に確認し、支援に活用すると下旬行っている	・保護者の声をより継続的に反映できるよう、方法を検討していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ミーティングを通して職員間で意見交換を行っている	・意見をより具体的な改善に繋げられるよう、共有方法を工夫していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・外部の視点を取り入れ、業務改善に活かすよう努めている。	・外部評価の内容を、より分かりやすく職員間で共有していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部研修への参加、研修内容の共有を行っている	・研修内容を日々の支援により活かせるよう工夫していく
適切な支援の提供	11	通知に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・支援プログラムの作成・見直しを行っている	・内容の分かりやすさについて引き続き検討していく
	12	福ゼのこどもに対してアセスメントを通知に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・定期的にアセスメント面談を実施している	・より多角的な視点での評価を心がけていく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が忌憚相談ができて、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・職員間で話し合いながら、支援計画を作成している	・情報共有の機会をうまに活用できていく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・支援計画を職員間で確認する機会を設けている	・共有方法の工夫により、より統一した支援を実現す
	15	こどもの通応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・日々の観察や記録を通して、子どもの状況を把握している	・評価方法の見直しを継続していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえるなかで、こどもの支援に必要な福祉が通切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・ガイドラインを意識し、支援内容の検討を行っている	・より具体的な支援内容になるよう検討を重ねていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で意見を出し合い、ミーティング等通して活動内容を検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎月の課題内容を見直し、形式内容に偏らないよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・活動内容が子ども毎の様子に応じて、個別活動と集団活動を使い分けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・支援前に職員で情報共有を行い、支援内容や役割分担を確認している	・支援内容が内容が一定でない場合があるため、引き続き確認を徹底していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・毎日、研究を通して、支援の振り返りや、情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の支援について記録を行い、支援内容の振り返りに活用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画書の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		・ガイドラインを踏まえ、支援内容を検討している	・活動内容の間隔について引き続き見直していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするカを育てるための支援を行っているか。	5		・活動や食事において、子ども自身が選択できる機会を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・必要に応じて、関係機関との情報共有を行っている	・参加機会について、引き続き検討していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・関係機関との連携を推進し、必要に応じて情報共有を行っている	・連携の手法をうまに広げていく事が課題である
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・保護者を通して、学校との情報共有や連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・必要に応じて、関係事業所との情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	4	1	・必要に応じて、これまでに支援内容について情報共有を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5	・必要に応じて、専門機関と連携を図っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	4	1	・活動を通じて、子ども同士が交流の場を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	・地域の協議会等へ参加を通じて、情報共有や連携を図っている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・必要時や連絡帳を通じて、日々の様子を保護者に伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・保護者向け研修や学習機会について、チラシ等を用いて情報共有を行っている	
保護者への説明等	36	通室規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・利用開始時に、通室方針や支援内容について説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・個別支援内容説明と、家族の意向を確認している ・面談や確認の機会を、より計画的・継続的に設けていく	・意向確認の機会を、より計画的・継続的に設けていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を分かりながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・支援内容について説明を行い、理解を得るよう努めている	・より分かりやすい説明を行っていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な必要な助言と支援を行っているか。	5		・保護者からの相談に対し、最新の家庭の状況や取り巻き通じて対応している ・必要に応じて関係機関で共有を行い、支援に繋げている	・相談支援の記録が、抜け落ちる。より充実させていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・保護者同士が交流できる機会について、今後検討が必要である
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の仕組を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった際に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情や要望があった場合は、職員間で共有し、速やかな対応を心がけている ・苦情ノートの設置を継続している	・対応内容の整理・記録を、より明確にしていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・ホムページやブログを活用し、活動内容の発信を行っている。	・発信頻度や内容について、うまに工夫していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報は事業所内で、適切に管理している ・職員間で知識に関する共有を継続し図っている	・定期的な確認を行い、意識の維持に努めていく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・保護者やきょうだいの状況に配慮し、向き合う姿勢を工夫している	・よりご安心頂けるよう、職員間で共有を深めていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・今年度初めて園での活動を通じて、地域住民を活用した取組を行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・事故防止・緊急時対応等のマニュアルを整備している	・訓練の実施や内容の見直しを、定期的に行っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・非常時を想定し、必要な体制整備を行っている	・訓練を見直しを通じて、実効性を高めていく
	48	事前に、緊急や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・事前に保護者からの情報を確認し、職員間で共有している。	・情報更新のタイミングの確認方法を整備していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応ができているか。	1	4	・現在、該当児童でも利用者はいないが、対応方法について検討している	・必要時に速やかに対応出来るよう、引き続き資料を確認していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたやで支援が行われているか。	5		・安全管理に関する取り組みを行っている	・研修や確認を通じて、子どもを安全管理の向上を図る
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・家族と連携しながら安全面について共有している	・連携方法について、より分かりやすく整備していく
	52	ヒヤリハットや事業所内で発有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハットを記録し、職員間で共有している ・再発防止に向けた対策を検討している	・記録や振り返りの活用方法を、うまに工夫していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・内部研修に参加し、知識・技術の向上に努めている	・研修内容を日常支援に反映できるよう工夫していく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・身体拘束防止に関する方針を作成している ・必要の時にすぐ考えるようにつつ職員間で確認している	・引き続き慎重を期め、適切な対応が行えるよう努めていく